

令和元年度  
みかど荘 事業報告書

介護老人福祉施設  
短期入所生活介護事業  
地域包括支援センター

## 1 はじめに

本年度は、入所者数の回復に努める一方、職員の安定的確保に対応する一年であった。

年度当初より徐々に入所者定員の回復を目指一方、本年度は12月中旬頃より新型コロナウイルスが中国で発生し、瞬く間に全世界へ感染拡大しました。現在の医学では特效薬が無く現在に至るまで、日本全国に広がり都心部を中心に緊急警戒宣言が発令されております。

この事を受け、法人としては1月末より全職員に対し施設内での感染予防として、行動指針を掲示し、不要不急な外出や自己防衛のための行動をとるよう示しているところです。今のところ近隣での感染者が発生したとの情報はありませんが、同様の通所事業所や福祉施設で感染が確認された報道がありますので油断せず取り組んでまいりたいと思います。

またその影響で、新規に入所して頂くことができず稼働率にも影響がありました。

一日も早く新型コロナウイルスに効く薬が開発されることを待ち望んでおります。今後も警戒を強めて、施設経営に取り組んでまいりたいと思います。

本年度の各事業報告を次ページ以降に取りまとめましたのでご報告致します。

## 2 介護サービス提供への取り組み結果

### (1) 特養・短期入所サービスの取り組み報告

特養においては、最低目標の利用稼働率 88.0%にしておりましたが、少し届かない 80%でありました。例年のインフルエンザに注意しておりましたが、今年度は1月下旬頃より日本での新型コロナの感染拡大により入所の制限を行ったためあと一步届きませんでした。

#### ①介護支援専門員・生活相談員としての報告

- 施設サービス提供の包括責任者として、ご利用者様及びご家族様からの苦情や相談があった場合、解決すべき問題を検証し、迅速に改善を図ります。
- ご利用者様並びにご家族様から希望・要望を聞き、施設介護サービス計画書へ反映させました。
- 施設サービス計画書作成後は遅滞なく、ご利用者様・ご家族様へ確認・承諾を受けました。
- 退院時や状態変化があった際には適宜見直しを行い、一人一人に適切なサービス提供がなされるよう努めました。
- ご利用者様・ご家族様への介護支援に関する様々な情報提供と介護保険関連や関係法令の情報提供に努め、ご利用者様とご家族様との信頼関係の構築に努めました。
- 施設職員からご利用者様に対するサービス情報を抽出し施設サービス計画書の質を高めました。
- 情報の伝達・共有を行える組織が構築できるよう努めました。
- 終末期のケアの質が高まるよう、ご家族様の意思を適宜確認しながらケアに努めました。
- 日常生活継続加算を開始したことで、介護福祉士の有資格者が質の高い介護サービスの提供がなされるよう努めました。

#### ②介護職員としての報告

##### 1階フロアー

- コロナウイルス感染予防のため周囲の清掃や消毒を実施しました。
- 2月下旬より面会を規制しコロナウイルス感染防止に努めました。
- 軽作業やレクリエーションなど集中出来ることを提供しました。
- 介護サービス計画書に基づき介護サービスを提供し、安心・快適に過ごして頂けるように努めました。

##### 2階フロアー

- ご利用者さまへの尊敬の念を忘れず利用者様が快適に過ごせるように努めました。
- ご利用者様の ADL を把握し事故なく安心、安全に過ごして頂く様に努めました。
- 職員間で情報を共有する事により、全職員で同じサービスを提供できるように努めました。
- コロナウイルス感染予防のため周囲の清掃や消毒を実施しました。
- コロナウイルス感染予防のため風邪症状のある方を早期発見し個室へと移動することにより蔓延防止に努めました。

##### 3階フロアー

- コロナウイルス感染予防のため周囲の清掃や消毒を実施しました。

- 2月下旬より面会を規制しコロナウイルス感染防止に努めました。
- 安全かつ穏やかに過ごしていただける様ご利用者様主体の介護サービス提供に努めました。
- 利用者様のプライバシーを擁護し個人情報等の秘密保持に努めました。

### ③看護職員としての報告

- 適切な巡回のほか連絡・報告を受け、ご利用者様の状況を把握し異常の早期発見に努めました。
- 施設内でのインフルエンザやノロウイルス、新型コロナウイルスの感染防止に努めました。
- 新型コロナウイルスの感染防止対策のため、歯科回診は中止（緊急性のある場合を除く）としました。
- 新型コロナウイルスの影響により入所者対象の胸部レントゲン検査および、夜勤職員対象の健康診断は実施延期となりました。
- 内科回診を年間予定通り実施しました。
- 職員健診に際し、通院・再検査が必要な職員に対して指導を行いました。
- 夜間や休日の急変発生時、適切な対応を行いました。

#### 《入所者健康管理年間報告》

- ・ 定期回診（内科） 毎週木曜日
- ・ 歯科回診 週2回
- ・ 健康診断 入所時・随時
- ・ 採血、採尿 随時
- ・ 胸部レントゲン（年1回 3月実施） ※実施延期
- ・ 体重測定 年4回 1・4・7・10月実施
- ・ 血圧測定 週2回入浴日 他随時実施
- ・ インフルエンザ予防接種 11月から12月にかけて実施

#### 《職員健康管理年間報告》

- ・ 健康診断 全職員対象（採血・採尿・胸部レントゲン・血圧測定・心電図・聴力検査・視力検査・身長・体重測定）11月実施  
夜勤者対象（採血・採尿・血圧）3月実施延期
- ・ 給食職員細菌検査 毎月1回（夏季2回）提出
- ・ インフルエンザ予防接種 11月から12月にかけて実施

### ④栄養士としての報告

- 身体状況に応じた食札を利用し、個々に合った調理法の選択・食材のサイズの調節を介護主任や看護師と検討し提供しました。
- 嚥下能力を考慮したトロミ剤を使用し、誤嚥防止に努めました。
- 年間行事での行事食の提供、季節の食材を取り入れることで、四季を体感できるような食事を提供しました。また、故郷の味を懐かしんでいただくために、月に数回ほど各地の郷土料理を提供しました。
- 盛り付けや食器の使い分けにより、「目でも楽しめる食事」を目指し提供しました。
- 嗜好調査を実施し、利用者の要望に応えられるよう努めました。

- おやつを利用者の目の前で作ることにより、五感で楽しんでもらえる食事を提供するよう努めました。

## (2) 地域包括支援センターの取り組み報告

- 野川・梶ヶ谷地区にある7ヶ所のグループホームの合同運営推進会議を年度内2回開催しました。
- 野川いこいの家、宮前区役所、富士見プラザ包括、寿楽園と共催で、地域住民向け福祉講座「いこい出前講座」を7月30日、11月22日に開催しました。
- 11月11日には、富士見プラザ包括と合同で、介護予防ウォーキング「宮前ウォーキング」を開催しました。
- 介護予防教室の取り組みについては、市営野川西団地集会所にて、団地自治会や寿楽園と共催し、「いきいき体操」を毎月1回開催しました。
- 「元気ましまし坂の上体操」を8月から毎月1回、「元気ましまし南台体操」を10月から毎月1回開催しました。
- グループホーム花物語みやまえナーシング駐車場にて公園体操「せんにちそう体操」を毎週1回開催しました。又、有料老人ホームそんぼの家川崎宮前駐車場にて、公園体操「野川さんぽみち体操」を、毎週1回開催しました。
- サービス付高齢者住宅そんぼの家S宮前野川施設内にて、6月から毎週1回「野川よりみち体操」を開始し、開催しました。
- 介護予防リーダー向け研修会「恋チュン体操」を、12月2日に開催しました。
- 有料老人ホームそんぼの家川崎宮前にて、サロン「野川さんぽみち喫茶」を、毎月1回開催しました。又、5月28日には、健康度測定会「野川さんぽみちロコモチェック」を開催しました。
- 11月26日には、野川小学校4年生を対象に、認知症や体力の低下への理解を深める目的で、福祉教育の授業を行いました。
- 1月30日には、認知症予防体操「コグニサイズ」講座を開催しました。
- 認知症VR体験会を、9月20日に開催しました。
- 6月7日には、地区社協と共催で地域住民向けの研修「私たちにとって地域ってなんだろう、その人にふさわしい生き方、役割を求めて」を開催しました。
- 11月29日には、野川セブン主催の体力測定・介護相談会「元気度チェック」が野川いこいの家で行われ、宮前区役所や自治会とともに、メンバーとして参加しました。
- 野川南台団地自治会主催のサロン「おしゃべりカフェ」に毎月参加し、自治会や住民との顔の見える関係づくりを行いました。
- ケアマネジャー向け研修会「知っておきたい排泄ケア」を、1月30日に開催しました。

## (3) 各種委員会・職員教育・研修報告

### ①入所判定委員会

- 新規ご利用者様を決定する際、入所希望者の状態・緊急性・空き居室の状況・介護度・市の入所判定指針などを検討し入所の優先順位を決定しました。
- 要介護度3以上の方を優先的に案内し、地域に対しての貢献度を高まるよう努めました。
- 要介護度1・2の方でも入所の必要を認める際には、理由を明確にし、記録として保管しました。

## ②行事委員会

- 懐かしい故郷の味を味わって頂こうと食事に郷土料理を盛り込みました。
- 理美容は2ヶ月に一度、ロビーやフロアーに季節毎の展示を実施しました。
- 茶房会などは皆様の体調に合わせて出来る限り実施しました。

## ③苦情処理委員会

- ご利用者様、ご家族様等から出た苦情申し立てについて、施設長を中心に施設内で十分な調査、検証を行い十分な説明と改善を図り、サービス提供の在り方・顧客満足度向上につながるサービスの検討を行い、再発を防止するための対応を行います。

## ④ケアプラン作成委員会

- 個々のご利用者様が最大限の能力を発揮し自立した生活が送れるよう日常の問題を抽出し、解決に向けた取り組みをわかりやすく具体的に示しました。
- 現場職員とよりよい連携が図れるよう日ごろから連絡と相談を密に行いました。
- ご利用者様の状態変化に対し速やかな施設サービス計画書変更を行い、ご家族様へ同意を頂きました。

## ⑤給食委員会

- 他職種の職員と連携を図り、個々の状態を把握しながら食事形態や食事内容について検討を行いました。また、利用者様に安心して食べて頂けるように電解水を活用し、衛生面の徹底や、トロミ剤の質の向上に努めました。

## ⑥研修委員会

- 褥瘡予防・事故防止・感染症予防の各委員会と連携し、各研修を実施しました。今年度より新たに身体拘束についての研修も必須となり、身体拘束廃止委員会とも連携し、研修を実施しました。その他委員会及び担当者と連携を図り年間予定表通りに月1回以上の研修を行いました。業務上、必要に感じたことが有れば、研修で行えないか施設長を中心に提案を頂き、随時追加で研修を行いました。
- 新人職員に、介護主任を中心にして介護業務、接遇に必要な技術、知識、情報を入職時研修として指導を行いました。その後も評価シートを作成し1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月、1年と期間を分けて評価、指導を実施致しました。

## ⑦排泄・補水委員会

- 介護職員と看護職員で連携し、ご入居者様の日々の変化や状態を観察して、その方に適切なトロミ量を使用した水分を提供しました。
- ご入居者様ごとに排泄状況をモニタリングして、その方に合ったオムツやパッドを使用し、快適な施設生活を送って頂けるように努めました。
- ご入居者様のADLや日々の変化を観察して、状態や介助方法に変更がある場合は、介護職員と看護職員で情報共有し、統一したサービスを提供しました。

## ⑧業務委員会

- 業務を円滑に行えるように他の委員会と連携をとりタイムスケジュールの作成し職員の負担軽減にも努めました。
- 全体で決まった申送り等を報告、連絡、相談を密に行い全職員に申し伝えるように努めました。

## ⑨事故防止委員会

- 全職員が事故発生時に、4M分析にて事故原因を考察し、主任、委員会を中心に事故防止策を立案、実施に努めました。
- 研修委員と連携を図り、年2回以上と職員入社時に研修を実施しました。

## ⑩身体拘束廃止委員会

- やむをえず身体拘束を行う場合は、ご利用者様、ご家族様、職員に身体拘束に関する説明を行い、身体拘束に関する理解を深め、手順を踏んで対応しました。
- やむを得ず身体拘束を行っているご利用者様の日々のモニタリングを基に切迫性、非代替性、一時性の3要件を満たしているかのカンファレンスを行い拘束の要否を多職種連携し考案するよう努めました。

## ⑪感染症予防委員会

- 感染症対策を効果的に実施した結果、ご利用者様のインフルエンザ発症はなし。疥癬が発生した際も、感染拡大することなく収束に至りました。
- 新型コロナウイルスへの対策等も医務と連携し対策資料を作成し全職員を対象に周知を行い、意識向上と対策に努めました。

## ⑫環境整備委員会

- 職員一人一人の館内美化への意識改革を行いました。
- 今年度では施設内で疥癬が発生してしまいました。清掃が行き届いておらずフロア内が不衛生な状態であったことが原因の可能性もある為、清掃チェックを更に細かくし不十分な場所が明確になるよう改善しました。

## ⑬口腔ケア委員会

- 協力歯科医療機関と連携し、適切な口腔ケアを行ないました。
- 歯科医療機関からの指示内容を職員へ共有し、口腔ケアへの理解を深め、良質な口腔ケア実施ができるよう取り組みました。

## ⑭医療ケア委員会

- 個別に吸引・経管栄養ケアプランを看護師と連携しモニタリング・評価を適切に実施しました。
- 看取りの利用者様への対応など、研修を通して職員の理解を深めました。

## ⑮衛生委員会

- 職員の健康障害を防止する為の対策を調査審議し、心身の健康に関する啓発に努めました。

#### ⑩褥瘡予防委員会

- 入所時、褥瘡発生リスク評価をし、高リスク者に対しケアプランを作成し褥瘡予防に努めました。
- 褥瘡発生時は嘱託医と連携を図りながら早期治癒に向けて取り組みました。

#### ⑪安全委員会

- 喀痰吸引等業務の実実施計画や実施状況の管理を行いました。
- 介護職員による喀痰吸引等業務が安全に実施されるように取り組むことで、喀痰吸引等実施時の事故の発生はありませんでした。

#### ⑫施設外研修報告

今年度は、ありませんでした。

### (4) 意見・要望・苦情に対する対応報告

ご利用者様、ご家族様からの、意見、要望、苦情について、それらの情報を関係職員に周知させると共に、施設長、各部署の責任者を中心にそれらの原因・対策を検討し、再発防止に努めました。

また引き続き投書箱を設置し、忌憚のない意見を聴取できる環境を整備しましたが、投書での苦情等はありませんでした。

また、契約時に施設の苦情担当職員と公的機関の案内も行いました。

### (5) 安全管理について

#### ①事故防止への取り組みと事故発生時の報告体制

ご利用者様に関する事故については、ご家族様への通報を優先し、嘱託医の助言等を勘案して関係職員には病院への緊急搬送など、取るべき行動を指示しました。

災害（火事・震災）発生を想定した訓練、消防設備の取扱いについて指導しました。防災訓練は年1回実施しました。

#### ②発生した事故の内容、件数、対応状況

(事故件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事故件数	4	6	4	3	6	5	4	6	5	4	4	6	57
ヒヤリ・ハット報告	0	4	4	2	1	1	0	0	1	0	0	0	13
うち医療機関受診案件	2	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	5

(7) 地域交流（ボランティア受入れ等）の状況報告  
年度を通して様々なボランティアの方を随時受け入れました。

- ・大阪音大関東支部ボランティア(クラシック・演奏会)
- ・宮崎中学校PTA
- ・有馬中学校学生(職場体験)
- ・東橘中学校学生(職場体験)

### 3 事業実績等

#### (1) 特別養護老人ホーム事業

①利用状況 ※在籍者数（入院等不在者を含む。）

ア 年齢構成別利用者数（各月末日現在）

（単位：人）

	～70歳	71歳 ～75歳	76歳 ～80歳	81歳 ～85歳	86歳 ～90歳	91歳 ～95歳	96歳 ～	合計
4月	0	3	11	14	12	13	7	60
5月	0	3	10	15	12	11	7	58
6月	0	3	8	16	12	11	7	57
7月	0	2	7	16	13	10	8	56
8月	0	2	7	17	13	10	7	56
9月	0	1	8	16	15	10	7	57
10月	0	1	8	15	15	7	8	54
11月	0	1	8	14	15	8	8	54
12月	0	1	8	14	16	8	8	55
1月	0	1	7	14	17	7	8	54
2月	0	1	8	14	17	8	8	56
3月	0	0	9	14	16	8	8	55
合計	0	19	99	179	173	111	91	672

イ 介護度別利用者数（各月末日現在）

（単位：人）

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
4月	2	7	19	22	10	60
5月	3	7	17	21	10	58
6月	5	9	13	20	10	57
7月	5	9	13	19	10	56
8月	5	9	13	20	9	56
9月	5	9	13	20	10	57
10月	5	6	12	19	12	54
11月	5	5	13	19	12	54
12月	5	5	14	19	12	55
1月	5	5	14	18	12	54
2月	5	5	15	17	14	56
3月	4	6	16	15	14	55
合計	54	82	172	229	135	672

ウ 地域別利用者数（令和元年3月31日現在の在籍者数）

（単位：人）

川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	市内合計
1	2	5	5	38	2	0	53

横浜市	その他県内	東京都内	その他県外	市外合計
2	0	0	0	2

エ うち “やむを得ない理由による、実施機関別被措置者数

(平成 29 年 3 月 31 日現在の在籍者数)

(単位：人)

川崎区	大師地区	田島地区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区
0	0	0	0	0	0	0	0
麻生区	市内合計			横浜市	その他県内	東京都内	市外合計
0	0			0	0	0	0

②行事等の実施状況

	行事等の内容(実施日)
4 月	花まつり
5 月	お節句
6 月	開荘記念日
7 月	七夕、土用の丑の日
8 月	お盆、終戦記念日
9 月	重陽の節句、敬老の日、彼岸入り、お中日、彼岸明け
10 月	十三夜
11 月	紅葉の会
12 月	冬至、師走の会、年越しの会
1 月	祝賀新年会、七草
2 月	節分、初午
3 月	ひな祭り、彼岸入り、お中日、彼岸明け

(2)短期入所事業

①利用状況 ※延べ利用者数(延べ利用日数)

ア 年齢構成別利用者数

(単位:人)

	～ 70歳	71歳 ～75歳	76歳 ～80歳	81歳 ～85歳	86歳 ～90歳	91歳 ～95歳	96歳 ～	合計
4月	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0

## イ 介護度別利用者数

(単位：人)

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
4月	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0

## ウ 地域別利用者数 (年度内延べ利用者数)

(単位：人)

川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	市内合計
0	0	0	0	3	0	0	0

横浜市	その他県内	東京都内	その他	市外合計
0	0	0	0	0

(3)地域包括支援センター事業

①利用状況 ※「地域包括支援センター業務実績報告書」に基づく

ア 相談件数

(単位:件)

相談者	本人	家族・ 親族	民生 委員	地域 住民	ケア マネ ージャー	サービ ス事 業所	医療 機関	区役所	その他	合計
4月	35	39	1	0	38	15	17	5	7	157
5月	48	48	3	1	39	14	9	11	7	180
6月	31	42	0	7	37	15	8	5	4	149
7月	41	42	2	0	70	19	13	10	6	203
8月	52	49	0	11	71	31	19	11	6	250
9月	21	62	1	2	41	24	16	14	6	187
10月	39	50	0	2	31	21	7	10	4	164
11月	31	45	0	3	31	23	7	7	5	152
12月	24	27	1	5	20	9	11	7	2	106
1月	33	28	0	0	24	16	8	7	3	119
2月	25	23	0	6	22	12	9	3	5	105
3月	40	44	0	0	19	19	15	4	4	145
合計	420	499	8	37	443	218	139	94	59	1,917

## イ 相談内容（複数回答有）

（単位：件）

	介護 保険	高齢者 福祉	権利 擁護	医療 相談	安否 関連	その他	合計
4月	97	41	5	43	8	49	243
5月	117	28	5	33	12	26	221
6月	106	32	6	30	5	45	224
7月	136	43	3	36	4	57	279
8月	119	45	11	42	13	26	256
9月	89	49	10	21	5	24	198
10月	83	38	6	17	1	25	170
11月	85	34	2	19	2	16	158
12月	61	17	7	10	0	13	108
1月	60	14	10	25	7	11	127
2月	71	17	6	18	7	13	132
3月	106	20	3	15	6	15	165
合計	1,130	378	74	309	70	320	2,281

## ウ 給付管理件数

(単位：件)

	給付管理件数		
	直営	委託	合計
4月	59	130	189
5月	58	129	187
6月	52	126	178
7月	56	120	176
8月	57	123	180
9月	55	123	178
10月	62	124	186
11月	57	119	176
12月	56	115	171
1月	57	120	177
2月	57	121	178
3月	56	106	162
合計	682	1,456	2,138

## 4 まとめ

本年度は、1月から新型コロナの影響で特養稼働率に大きな影響を受けました。

来年度にわたり長期的な影響が出るものと思われます。その中で、新規入所者の受け入れをどうするか、また施設内における感染予防に最善の注意を払いながら、施設経営をするという大きな問題・課題に取り組んでいかなければなりません。

入所者ご家族にご理解ご協力して頂きながら、この難局を全職員で一致団結し乗り越えてまいりたいと思います。